



Serviceability Reports Archive の設定

[Serviceability Reports Archive] ウィンドウでは、Serviceability Reporter サービスによって生成されたレポートを表示できます。Serviceability Reporter サービスは、Cisco Unified Presence の管理ページにある Serviceability Reporter サービスのパラメータで指定された時刻にレポートを生成します。

この項では、[Serviceability Reports Archive] ウィンドウの使用方法について説明します。

開始する前に

Cisco Serviceability Report サービスをアクティブにします。Serviceability Reporter サービスは CPU を集中的に使用するので、コール処理を実行していないサーバ上でアクティブにすることをお勧めします。

手順

ステップ 1 [Tools] > [Serviceability Reports Archive] の順に選択します。

[Serviceability Reports Archive] ウィンドウに、レポートを表示できる月と年が表示されます。

ステップ 2 [Month-Year] グループ ボックスから、レポートを表示する月を選択します。

選択した月と年が表示されます。

ステップ 3 レポートを表示するには、RTMT がレポートを生成した日に対応するリンクをクリックします。

選択した日のレポート ファイルが表示されます。

ステップ 4 特定の PDF レポートを表示するには、表示するレポートのリンクをクリックします。

ウィンドウが開き、選択したレポートの PDF ファイルが表示されます。



(注) PDF レポートを表示するには、Acrobat ® Reader をマシンにインストールする必要があります。Acrobat Reader をダウンロードするには、ウィンドウの右下隅のリンクをクリックします。

追加情報

P.14-2 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [Real-Time Monitoring の設定 \(P.7-1\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager Serviceability システム ガイド』の「[Real-Time Monitoring Tool](#)」
- 『Cisco Unified CallManager Serviceability システム ガイド』の「[Serviceability Reports Archive](#)」